

9-8		主題	家族とつくるハピネスあだち夏祭り	
家族会		副題	家族との連携で、より良い施設生活を	
研究期間	12ヶ月	事業所	特別養護老人ホームハピネスあだち	
発表者：安田雅俊（やすだまさとし）			アドバイザー：なし	
共同研究者：内山彰吾				
電 話	03-5839-3630	メール	adachi-soudan@family-wf.jp	
FAX	03-5839-3632	URL		

今回発表の事業所やサービスの紹介	ハピネスあだちは足立区江北地区にある、2006年に開設された150室のユニット型特養です。地域包括支援センター、ショートステイ、デイサービスなどが併設されています。 入居者の方にも近隣の都営住宅からの方も少なくなく、地域の方々のボランティアもあり、地域と共にある施設となっています。
------------------	---

《研究前の状況と課題》 2006年4月、特養ハピネスあだちは開設をしました。2007年7月に「第1回ハピネスあだち夏祭り」を開催する運びとなりました。 第1回ハピネスあだち夏祭りはたくさんの家族が参加をしていただけました。しかし、多くの家族は夏祭りの出店で食べ物などを買っては、部屋で待っている入居者の元へ運んで食べるなど、普段と違う食べ物が手に入るのを買って来て食べるだけというような様子も少なくない状況でした。入居者・家族とともに楽しみ、作り上げるというよりは、施設が主体となり行っているだけの夏祭りといった印象は拭えませんでした。 施設職員だけではなく入居者の家族も巻き込みで祭りを盛り上げたい、その為の家族の協力をいかに得るのが課題でした。
--

《研究の目標と期待する成果》 家族との関わりを通じて、入居者の生活を向上させていくことが狙いです。第1回夏祭りと同年に発足なったハピネスあだち家族会の活動を通じて入居者様の生活の向上につなげられないかと思い、取り組みを始めました。 家族会の活動に期待している成果としては、 1) 施設の運営全般について家族会として、意見をいただける環境をつくる。 2) 施設内行事の企画などに参画していただき、協力体制をとっていく。（行事内容についての話し合いや、家族会としての催しものの検討など） 3) ボランティアの紹介や協力があります。 こうした家族会の活動を、夏祭りでも活用したいと考え、2008年の第2回夏祭りの開催に取り組みました。
--

《具体的な取り組みの内容》

2007年3月、家族会役員会において、施設側より、来年度の夏祭りには、家族担当の職員やフロアリーダーから家族会の協力を依頼しました。

最初は「それは施設の仕事なのでは」という声も聞かれたが、話し合いを重ねる中で、「自分の母のためになるなら」と了承をいただくことができました。

2008年、第2回夏祭りを開催するにあたり、5月から夏祭り実行委員会を開催しました。7月からは準備期間となっています。夏祭り実行委員会には家族会の夏祭り担当者が出来る限り参加していただき、積極的な意見交換をおこなってきました。

家族会役員会へも夏祭り実行委員が参加させていただき、夏祭りへの協力依頼や内容についての意見交換も行うようにしていました。

7月の準備段階から家族会にも参加していただき、装飾や担当部門の準備を一緒に行なってきました。

夏祭り当日では家族会の方に家族の方の受付や一部の屋台販売なども担当していただいたり、家族会の方の紹介によるボランティアの余興をプログラムに取り組みだりと、企画から実施まで一緒に夏祭りを作っていました。

《取り組みの結果と評価》

家族会の参加により、夏祭りが施設・家族・地域一体となって開催することができたと感じています。特に入居者家族からは、「他の家族の方が頑張っている姿をみて、来年は私たちも何か協力できないかしら」との言葉が聞かれました。

この方は2008年度の新年会において、余興を披露してくださることとなり、現在も施設の行事などには参加していただき、大正琴を披露して下さり入居者様からも「また聞きたいわ」と好評でした。

また夏祭りでの家族会の活動の中で施設への要望のアンケートをとって下さり、意見としてあげていただくこともできました。

《まとめ》

家族会という組織の活動を通じることで、他の家族の施設への関心を高めていくことができました。ボランティアの輪を広げていく一つの窓口にも家族会の方がなったように思います。

施設への要望・意見についても、同じ家族の立場から意見を吸い上げることで、施設に伝えづらいことも抽出することができ、今後の施設運営の参考にさせていただくことができます。

《提案と発信》

多くの施設にも家族会という組織はあると思います。私たちの施設の家族会は、施設の活動に協力をお願いしたり、家族会の活動に施設も積極的にフォローに入るなど、共に支えあって成り立っている存在となりました。行事などは交流や連携の良い機会となります。家族会に行事などに積極的に入っていただくことで一緒に施設を盛り上げる存在になることができたら良いと思います。

【メモ欄】